

普及活動情勢報告（令和2年7月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

新型コロナウイルスに負けるな！ ～経営の安定化に向けた取り組みを支援～



6月22日から、安芸市赤野を皮切りに、新型コロナウイルス対策の一つとして農林水産省が実施する高収益作物次期作支援交付金の申請受付が始まりました。

農業改良普及課は各市町村、JAと協力して生産者が次期作も営農を継続できるよう交付金の趣旨や取組項目について説明し、スムーズに申請手続きができるよう支援しました。

生産者は新型コロナウイルスに負けずに次期作も営農を継続する意思を明らかにして申請書を作成していました。

農業改良普及課は、今後も生産者が安定して営農ができるよう支援していきます。

室戸市羽根地区でナス収穫体験の開催



6月24日、羽根小学校の児童10人を対象にナスの収穫体験が行われました。

ハウスに入る前に、農業改良普及課室戸支所の職員が室戸のナスについて授業を行い、児童からは多くの質問が出されました。

ハウスの中では、児童たちは持ち帰るのが大変なくらいナスを袋いっぱいにし、「収穫が楽しくてナスが好きになった」といった声も上がっていました。

農業改良普及課室戸支所は食育活動の一つとして、次作も収穫体験を支援していきます。

農業の基礎について学ぼう！！ ～第一回農業基礎講座開催～



農業改良普及課では毎年、就農5年目までの新規就農者等を対象に、農業の基礎的な栽培管理や経営に関する講座を開催しています。

7月14日、安芸総合庁舎で令和2年度1回目の講座（「土壌肥料の基礎知識について」）を開催し、26人が参加しました。出席者からは、「ECやpHの重要性が理解できた」、「自分のほ場の土でも土壌分析を実践してみたい」といった声がありました。

農業改良普及課は、令和3年2月まで毎月、講座を開催し、新規就農者への支援を行っていきます。

中芸地区の担い手確保にむけて ～中芸地区就農支援ネットワークの会～



7月15日に北川村役場で、北川村、田野町、奈半利町、J A、農業担い手育成センター計7人及び農業改良普及課の担当職員が出席し、「中芸地区就農支援ネットワークの会」が開催されました。

この会の中芸地区の就農促進のための情報交換の場として、平成28年度から開催しており、今回は、各町村での就農促進、支援についての取り組み状況や課題、住宅確保の状況等について、活発に情報交換を行いました。

農業改良普及課からは、今年度の県の担い手支援の取り組み状況について情報提供しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、就農促進、支援にむけた取り組みをすすめていきます。

ユズのシカ害をどう防ぐ！ ～ユズ園被害実態の確認～



管内のユズ園では、シカやイノシシによる被害が問題となっており、状況把握のためトレイルカメラを設置しています。

7月20日、農業改良普及課は、柚子部畑山支部長、鳥獣害対策専門員とともに、被害の確認や今後の対策を検討するため、安芸市畑山地区ユズ園のカメラ設置ほ場周辺を巡回調査しました。

ユズ園では、簡易なネットで対策が採られているものの野生害獣の侵入を許している実態や、耕作放棄園の増加など野生害獣の活動に有利な状況が確認されました。

今後は、設置したカメラの解析による侵入阻止方法や関係機関と連携した支援対策、地域ぐるみの取り組みになるような意識醸成など、安心して栽培が継続できるよう支援していきます。